

ロンドン・ナショナル・ポートレートギャラリー所蔵

# ♠ KING & QUEEN ◆

from the National Portrait Gallery, London

— 名画で読み解く 英国王室物語 —

# 展

名画から読み解く、英国王室の歴史と物語

知れば知るほど面白い！

肖像画には物語がある

11世紀から現代まで伝統を受け継ぎ、今もなお世界中の注目を集め続ける英国王室。幾度かの王家転変を辿る中で、傑出した人物たちが現れます。6人の妻を持ち、絶対君主の名を欲しいままにしたヘンリー8世(チューダー朝2代目)、最強国スペインの無敵艦隊を撃退、“国と結婚”し生涯未婚を通した“ヴァージン・クイーン”エリザベス1世(チューダー朝5代目)、9人の子、40人の孫、37人の曾孫を持ち、64年間治世した“欧州の祖母”ヴィクトリア女王(ヴィクトリア朝1代目)、そして在位68年を迎えた現女王エリザベス2世(ウィンザー朝4代目)とその家族たち。とてつもない人物たちが、英国王室の歴史を脈々と創ってきました。

本展は、チューダー朝から現ウィンザー朝まで、5つの王朝の貴重なポートレート作品(絵画・写真等)約100点が、世界屈指の肖像専門美術館ロンドン・ナショナル・ポートレートギャラリーより来日。作品の魅力と併せ、一見、美しく気品に満ちた肖像画のモデルである王室の面々が辿った数奇な運命・幾度となく映像化や舞台化され、いつの時代も世界中を虜にする「英国王室の物語」を存分にお届けします。



「肖像画には物語がある」(中野京子)

展覧会ナビゲーターに、『怖い絵』の著者 中野京子さんが決定！

歴史的背景を知って“絵画を読み解く”鑑賞のおもしろさを提案した中野京子さん(作家・ドイツ文学者)を展覧会ナビゲーターに迎え、著書『名画で読み解く イギリス王家12の物語』(光文社新書)を展覧会公式参考図書としてコラボレーション。本展をさらにより深く、おもしろく鑑賞するためのナビゲートをしていただきます。

美しいポートレートにおさまる王族たちの、もう一方の顔。

本書を読んでから来場すると、展覧会が何倍も面白くなること間違いありません。

『名画で読み解く イギリス王家12の物語』  
(光文社新書)

## 上野の森美術館

〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2



1 《King Henry VIII》 after Hans Holbein the Younger (probably 17th century, based on a work of 1536). ©National Portrait Gallery

2 《Queen Elizabeth II》 by Dorothy Wilding, hand-coloured by Beatrice Johnson (1952). ©National Portrait Gallery

3 《Queen Elizabeth I》 by Unknown English artist (ca.1588). ©National Portrait Gallery

4 《Diana, Princess of Wales》 by Bryan Organ (1981). ©National Portrait Gallery

5 《Catherine, Duchess of Cambridge; Prince George of Cambridge; Prince William, Duke of Cambridge》 by Jason Bell (2013). ©National Portrait Gallery